

# 常葉学園だより

常葉学園本部  
 常葉大学・大学院  
 浜松大学・大学院  
 富士常葉大学・大学院  
 常葉大学短期大学部  
 常葉学園高等学校・中学校  
 常葉学園菊川高等学校・中学校  
 常葉学園常葉高等学校・中学校  
 常葉大学教育学部附属橋小学校  
 常葉大学短期大学部附属とはな幼稚園  
 常葉大学短期大学部附属とはな幼稚園  
 常葉学園静岡リハビリテーション専門学校  
 常葉リハビリテーション病院

第213号



1年生 情報科 パソコン起動



6年生 理科 酸素の燃焼実験



1年生 英語科 パペットと挨拶しよう



1年生 オーケストラ科 初めて音が出た日



## 「ふぞくASクラブ」 … 百年樹人と子育て支援

常葉大学教育学部附属橋小学校  
 校長 柴田幸洋

保護者の多くは職業をもって居るので、放課後に子どもの世話をするのは、物理的に無理であるケースが多いのが現在の状況である。そのことが、少子化につながっている一因とも考えられ、少子化は「百年先の未来のこと」を考えると本当に大きな問題である。これらから、附属橋小としても、低学年の小学生の子どもをもつ保護者を支援することは、重要なテーマと考えている。そこで、「こころは保育サービス」として、公的児童クラブに加えて、本校でも独自の「放課後児童クラブ」ふぞくASクラブを設置することに決めた。放課後保護者をお迎えに来るまで、安心・安全な環境で充実した学習や諸活動を行うことで、低学年の子育ての支援をしていきたいと考えている。関係保護者の皆様は、是非御利用をお考えいただきたいと思っております。※AS：アプタースクールの意

長い間教育に携わってきたことは、教育には初等・中等・高等教育とあるが、一人の子どもを一人前にし、社会性を身に付けさせていくためには、それぞれの発達段階を踏まえる必要性があることである。動物の子育てでは、我が子が自力で生きていくように、親が短期間で手取り足取りで徹底的に教え込んでいくことが多い。一方人間は、各々の成長段階ごと学校という場で、長い時間かけて、個人の力を育成し、集団としての力などを教えていく。各段階での特徴を生かした教育を確実に身に付けるようにすることが重要であり、どの段階でもその良さが欠けることができない。附属橋小として、豊かな心を「生きる力の火種」として、それを大きくし、子どもたちの可能性を引き出し、夢の実現を支援することで、大切な初等教育の使命を果たしていきたい。

二 発達段階を踏まえた教育  
 長い間教育に携わってきたことは、教育には初等・中等・高等教育とあるが、一人の子どもを一人前にし、社会性を身に付けさせていくためには、それぞれの発達段階を踏まえる必要性があることである。動物の子育てでは、我が子が自力で生きていくように、親が短期間で手取り足取りで徹底的に教え込んでいくことが多い。一方人間は、各々の成長段階ごと学校という場で、長い時間かけて、個人の力を育成し、集団としての力などを教えていく。各段階での特徴を生かした教育を確実に身に付けるようにすることが重要であり、どの段階でもその良さが欠けることができない。附属橋小として、豊かな心を「生きる力の火種」として、それを大きくし、子どもたちの可能性を引き出し、夢の実現を支援することで、大切な初等教育の使命を果たしていきたい。

一 百年樹人  
 常葉学園の勤務初日に、新任教員研修会を受講し、本学園の創立者である木宮泰彦先生が、「新日本を建設する為には、先づ教育の力を俟たなくてはならない。」との信念によることを教えていただいた。私はそれまで若い教師や教職をめざしている学生に、常々教育は百年先の未来を考えた「百年樹人」であるという話をしてきたので、創立者のお考えと同じ方向であったことに今後の職業の意義を感じた。



### 浜松市青少年の表彰「善行賞」を受賞 3.11はままつ東北復光プロジェクト



浜松市長から表彰を受けました

本学の学生が中心に活動する「3.11はままつ東北復光プロジェクト」は、地域の文化活動や奉仕活動などの積極的な取り組みを評価され、平成25年度浜松市青少年の表彰「善行賞」を受賞しました。  
「3.11はままつ東北復光プロジェクト」は、東日本大震災の被災地への継続的な支援、犠牲者への追悼、東日本大震災の風化防止、南海トラフ地震への関心、強化を目的として活動しており、今年で3年目となります。  
今後同プロジェクトへの関心強化を軸に、子ども達や浜松市民の方々に向けに行う企画を考え、浜松からの復興の灯をともし続けていきます。



### 水落校舎が完成しました!

昨年4月の開校後も続いていた工事が、校舎部分については終了し、今年4月ついに水落校舎が完成しました。小ささまざまな教室や実習室ができることに、キャリアサポートセンター、地域法政策研究・実践センター、カウンセリングルームも新設され、学生支援体制の充実に向け力を入れています。  
1階にできた学生ホールには食堂と売店が入り、お昼時には多くの学生で賑わいをみせ、また7階の屋上ガレージでは、お弁当を食べたり友人と会話をするなど憩いの場として使われるほか、人間力セミナー等の授業でも使用するなど教員と学生の交流の場としても活用されています。  
新たな校舎での学生のより一層の活躍に期待が膨らみます。



学生ホール ● 学生の笑顔があふれる学生ホール

### 法学部生、見事に宅建合格!

宅地建物取引主任者試験は、行政書士試験のように難しくはないけれども、かといつて簡単ではない資格試験です。  
試験問題は、民法等の法律科目、宅地建物取引業法等から出題されます。適度に学習しただけでは決して合格しません。  
そのようななか、法学部2年生の内海翔馬くんが、平成25年10月に実施された宅建試験に合格しました(合格時は1年生)。本試験の静岡県内の合格率は13.9%(全国15.3%)でした。  
内海くんが勉強を始めたのは夏休み前でしたが、図書館で遅くまで勉強したり、教員に質問に来たりして一生懸命取り組んでいました。彼から合格の連絡を受けたときとても嬉しかったこと、結果が学習に取り組めば、本学の学生に示してくれたと思います。

宅地建物取引主任者試験は、行政書士試験のように難しくはないけれども、かといつて簡単ではない資格試験です。  
試験問題は、民法等の法律科目、宅地建物取引業法等から出題されます。適度に学習しただけでは決して合格しません。  
そのようななか、法学部2年生の内海翔馬くんが、平成25年10月に実施された宅建試験に合格しました(合格時は1年生)。本試験の静岡県内の合格率は13.9%(全国15.3%)でした。  
内海くんが勉強を始めたのは夏休み前でしたが、図書館で遅くまで勉強したり、教員に質問に来たりして一生懸命取り組んでいました。彼から合格の連絡を受けたときとても嬉しかったこと、結果が学習に取り組めば、本学の学生に示してくれたと思います。



### 日本語スピーチコンテスト 最優秀賞 受賞



発表の様子

4月27日(日)、第12回外国人による日本語スピーチコンテストの決勝審査が富士商工会議所で開催され、富士キャンパスの留学生・毛方圓さん(総合経営学部4年)が最優秀賞を受賞しました。コンテストは8カ国23名の富士市在住の外国人がエントリーし、事前審査において上位10名が決勝審査へ進みました。決勝審査に進んだ10名は表情豊かに富士市での生活の中で感じたことを発表しました。毛さんは、「友好の架け橋」をテーマに、留学してからの体験などをもとにスピーチしました。「夢は美しいですが、私はそれを現実にした。夢と書いて私は目標と呼びます。」と、堂々とした姿勢で自らの主張を伝えました。

### 新・校友会スタート 新入生歓迎会・学生大会実施!

4月から新入生を迎えて新しいスタートを切った常葉大学。学生生活をリードする校友会の行事がさっそく行われました。校友会の新体制初の仕事になる新入生歓迎会、入学式を終えたばかりの新入生たちを歓迎し、楽しい大学生活を送ってもらうと校友会中心に各クラブ、サークルとともに準備を進めてきました。クラブ、サークルの紹介やパフォーマンスに新入生たちも笑顔で、「どのクラブに入ろうか?」と興味津々な様子でした。5月に入るとすぐに学生大会。昨年度の事業報告と会計報告、新執行部より新たな事業予定及び予算の提示がありました。今年も運動会や季節の行事と校友会が常葉大学を盛り上げていきます。



学生大会の様子



新入生歓迎会の様子



### 学生寮 新入生歓迎会、伝統の味を伝承??

本学には学生寮として「常葉寮」と「グリーンハウス」2つの寮があります。  
4月11日(金)に寮生の新入生歓迎会が1部ではシトラスホールで自己紹介タイム&ゲームが行なわれ、2部では寮で先輩の手作りハヤシライスが振舞われ、常葉寮寮長の保育科2年田中瑞希さんは、これから共同生活する仲間と楽しく交流が深められました。こうした温かく1年生を歓迎する伝統を後輩にも受け継いでもらいたいと語ってくれました。



みんなでいただきます!!



新入生歓迎会ゲームタイム



表彰式後に記念撮影



橘  
中・高

尚志祭展示会バザー

6月7、8日の2日間本校にて展示会バザーが開かれました。近隣の方々や保護者の方々、そして卒業生や他校の中学校高生もたくさん来てくれました。学校内はいつもの雰囲気とは違い、クラスや文化部の展示発表や高校3年生による露店、生徒会の企画などいつも以上に盛り上がった空気に包まれました。なかでも、牛串ステキやアイスクリーム、チョコはたいへんおもしろく、また生徒会による新企画も好評でした。今年も尚志祭が無事に終われたのは生徒や先生だけでなく、保護者や近隣の方々のおかげでもありませう。来年も多くの人に支えられて成功させたいと思います。



美術部による展示発表

高校2年生による  
展示発表

高校3年生による  
売店発表

茶道部 振袖で介護施設訪問

常葉学園橘高等学校茶道部は、3月26日藤枝市にある「ケアハウスみどりのかぜ」を訪問し、施設利用者の方60名ほどに、薄茶をお出ししました。部員全員が振袖を着てのおもてなしで、フロアー全体に花が咲いたようだとのお声をいただきました。利用者の方々は、部員とご自分のご家族を重ねて思い出されたり、一緒に写真を撮ったり、お話をなさっていて和やかに高校生徒の交流をされていました。



ケアハウスでのおもてなし

橘高

一年生を迎える会



橘小

49名の子どもがたちばなっ子の仲間入りをしました。1年生を迎える会では、相棒の6年生と手をつなぎながら、少し緊張した顔で講堂に入ってきました。在校生による楽しい出し物もあり、1年生は笑顔を見せていました。ドキドキ、ワクワクする小学校生活のスタートです。

AED実習



院内研修会開催

4月には新卒の職員も入職し、医療安全研修会（AEDの扱い、転倒・転落の防止）、院内感染対策研修会（感染予防対策、手指衛生、職業感染、予防接種）などが行われました。その中で最も基本で重要なのが手指衛生です。職員や患者間で病原微生物を移動させるのは「手」と言われています。日々行っている手洗いです。医療現場ではレベルの高い手指衛生が求められます。



手洗いチェッカーで汚れを確認

実習では、汚れに見立てて塗料入りのローションを手にまんべんなく塗り、「手洗いチェッカー」に手をかざして汚れを確認し、汚れがなくなるまで手洗いを繰り返し、そうすることで手洗いの苦手部分を洗い出すことができます。見えない汚れを「見る」ことで、職員の手洗い意識を高めます。研修と感染経路を遮断する意識が、医療機関の感染対策として重要となっています。

シトラスセミナー開催!!



陽を浴びつつデッサン!!

本学のシトラスセミナー（公開講座）が5月17日（土）からスタートしました。学内の庭で季節を肌で感じながら草花を絵に描こう!!と、当日は天気もよく新緑の気持ちがいい季節を感じながら受講生が筆を握っていました。11月までに全7講座が開講され、リピーターの方も多い本学の公開講座にぜひご参加ください。詳しくは本学HPをご覧ください。

常葉大  
短大部

4月25日（金）、静岡市民文化会館で芸術鑑賞会が行われました。劇団アルファール「爺さんの空」という作品で、「交通事故を起こした青年が元特攻隊員の祖父とともに鹿屋に行き、祖父たちの青春に何があつたかを知る」という物語です。特攻をたぐひなく、隊員たちを戦争の単なる被害者として描くのではなく、戦後世代の価値観で先人の行為を断罪するのでもない、それでいて平和の尊厳と、当時の人々の悲しみ、怒り、喜びをしっかりと描いた素晴らしい舞台でした。特攻のシーンでは多くの生徒が涙をこぼし、感動とともに永久の平和を願いました。

芸術鑑賞会 「爺さんの空」

常葉中・高



演劇「爺さんの空」

本校生徒から花束の贈呈

芸術鑑賞教室 「夏の庭」



「夏の庭」

5月2日（金）菊川文化会館アル大ホールで、高校2・3年生は芸術鑑賞会を開きました。今年度は東京芸術座による演劇「夏の庭」を鑑賞しました。湯本香樹実の同名小説が原作で、映画化、舞台化された有名な作品です。生徒達は、劇団の方達の迫力ある演技に圧倒され、物語の世界にひきこまれている様子でした。

菊川中・高

### 常葉高 立会演説会

4月23日(水)に立会演説会がありました。常葉高校生徒会執行部の立候補者、応援者がそれぞれ演説をし、生徒たちはそれを聞いて投票します。今、高校1年生、3年生の生徒が立候補し、どの立候補者も生徒会の活動だけでなく、学校全体を活性化し、よりよい学校にしようという意志を伝えました。会場には投票に臨み、常葉高校の生徒代表として、これからの活躍を期待しています。



自分の主張を熱心に訴える



投票の様子

### 1・2年生交通安全教室

5月7日(水)に交通安全教室が行われ、高校1年生・2年生が参加しました。交通指導員の方々の話に、生徒たちは真剣に耳を傾けていました。今回の交通安全教室では、登下校時に自転車に乗る際の交通ルールや注意点を確認しました。また、お年寄りの目線を考えるために、代表生徒が器具を装着し、どのように身動きできるのか体験すると同時に、自らの不注意で自転車も加害者になるという可能性を再認識しました。



交通安全教室の様子



お年寄り体験の様子

### 橘中 中学遠足

5月9日(金)、中学生全員でバスで富士山こどもの国へ行ってきました。3年生と1年生が各クラスで同じバスに乗り、2年生はクラスの枠を超えて2つのバスに分かれて向かい乗り。到着後は、同じバスに乗った集団で昼食のカレー作りを、3年生が1年生に野菜の切り方を教えたりするとても微笑ましい光景が見られました。1年生も与えられた仕事をきちんと行い、各グループともとても上手にできました。「みんなで作ってみんなで食べる」と美味しい」ということを実感したようです。生徒たちは、カレー作りや様々なアトラクションでの活動を通して友達との絆を深めることができたように思います。「もつといたい」という声があちらこちらで聞かれました。



全校で記念写真!



美味しいね!!

### 橘高 高校 HR デイ

5月9日(金)に「HRデー」が行われました。各クラスで目的地を決定し、絶好の天気の下、楽しい一日を過ごしました。入学間もない1年生は、この行事で、友誼が深まり、2年生にとっては高校時代の思い出の一ページに刻まれます。バスの中では各クラスごとと大いに盛り上がり、一方、パーベキュー等では苦労するグループもあつたようです。一貫コース1年生や総合芸術コースの生徒達は駿河湾フェリーを利用して、土肥に出掛けて行きました。



一貫一年生 集合写真



黙々と作業中!

### 常葉大 常葉大学改革フォーラム

カリキュラム改善プロジェクトの中間報告として、去る4月26日に「常葉大学改革フォーラム」を開催しました。昨年12月より進めてきたカリキュラムマップ作りの中で見えてきた課題について検証し、より良い教育課程への道筋を探りました。また、パネルディスカッションでは、お招きした愛媛大学の柳澤学長、進研アスの川目社長に西頭学長、渋谷教授も加わり、小田切チーフの進行により大学改革への取り組みや今後の大学のあり方について討議しました。学長「カリキュラム改善を契機に改革を持続的に行う」という意志の下、全教職員が一体となって「対話」を重視した教育と大学改革を進める決意を固めました。



大学改革について討議

### 常葉大 環境・美化プロジェクト 2014年も始動

4月9日、こども健康学科の学生が中心に活動を始め、2年目を迎えた「天竜浜名湖鉄道」常葉大学前駅「環境・美化プロジェクト」が本年度も始動しました。「学生が利用する駅は学生できれいにしよう!」「乗客や地域の方の癒しの場となれば」とこども健康学科・田中准教授の指導の下、自然体験学習園で、学生が育てたチューリップをプランターに植え替え、リヤカーに乗せて駅に運び、たっさんの花で駅舎を彩りました。今年度もさらに地域を盛り上げる活動を行っていきます。



たっさんの花で駅舎を彩りました

### 常葉大 富士 「いのちの森」に メダカ放流

4月9日(水)、社会環境学部の学生が、旭化成富士支社のビオトープ「いのちの森」で、絶滅の恐れがあるメダカを保護・保全するために、黒メダカ20匹を放流しました。山田辰美教授は、「富士市はメダカやカエル類、水中昆虫などの水生生物が豊かな地形を形成していたが、工業地帯化の振興や土地改良事業などにより水辺の環境が劇的に豹変した。こうした状況を改善し、野生のメダカを復活させる必要がある」と、そのためにはメダカヤシの侵入の危険がない程度までまとった面積が求められる。広大な旭化成のビオトープは、池や小川だけでなく湿地や田んぼもあり、メダカの増殖が期待できる」と話しました。今後は2000匹を増殖することを目標に、モニタリング調査に取り組んでいく予定です。



放流した黒メダカ



放流後に山田教授の説明を聞く学生たち



青空の下、笑顔・元気いっぱい!



5月2日(金)中学生は、「のんほいパーク(豊橋総合動植物公園)」へ出かけました。「ふれあい広場」では、小さなうさぎやハムスターに人気が集まり、猿の官舎では生まれたばかりの子猿のかわいらしい仕草に歓声が上がりました。植物園の温室には丹精込めて育てられた熱帯の花々がきれいに咲き乱れ、自然史博物館では大きな恐竜の骨格や化石を見ることができました。天候にも恵まれ、1日中思い切り楽しむことができました。

**菊川中・高**  
**中学HRDay**

5月3日(土)・4日(日)に浜松市にある竜岩洞で「まるごと豆乳」を販売しました。豆乳は耕作放棄地を有効活用し栽培している大豆を使用しています。当日は、浜松キャンパスの学生にも協力してもらい、合計で162個を完売することができました。夏休みにも販売を予定しています。



販売の様子

**常葉大 富士校**  
**「まるごと豆乳」販売!**

また、保護者との交流会では、障害児に対する理解を広めていきたいという保護者の方々の思いに触れ、学生たちの視野が広がった思いではないかと思えます。今後も様々な活動に参加し、交流を深めていきたいと考えています。



ミニキャンプの様子

**静岡リハ専**  
**ボランティア**

4月27日、静岡心理療育訓練会の第4回ミニキャンプに3年生16名が参加しました。動作法についてレクチャーを受けた後、保護者の方々が研修で不在の間に、子供たちの見守り活動を行いました。様々な楽器で音を出したり、歌を歌ったりしながら、子供たちと触れ合いました。短時間ではありましたが、参加した学生たちも子供たちひとりひとりの個性を理解することができたようです。



険しい山道でも笑顔の6年生



4月25日(金)に学年遠足に行きました。竜爪山は6年生にとっても厳しく、長い道での遠足でしたが、途中で霈に降られる厳しい条件の中でしたが、最後まで一人もあきらめることなく歩き通すことができました。道中、自然の草花や昆虫とのふれあいも楽しんだり、みんなで食べたお弁当に顔をほころべたりして、よい思い出となりました。

**橘小**  
**一人ひとりががんばった 学年遠足**

**がんばる卒業生**

今号の頑張る卒業生は、『ぼけナイト』を結成し、音楽療法を取り入れ認知症予防の活動をしている卒業生にインタビューしてみたいと思います。

さて、『ぼけナイト』のとは？  
また、取り組まれてどのくらいですか？  
『ぼけナイト』の『ぼけ』は皆さんご存知の認知症のこと。『ナイト』とは中世の騎士を表すものの、認知症から少しでも多くの高齢者を救いたいという願いを込めて『ぼけナイト』が作られました。

音楽レクの取り組みとしては何年前からありましたが、『ぼけナイト』としての活動は1年ほどになります。最近では県内で行われている地域の老人会などに呼んでいただき、公演などを行っています。

活動を通してモットーとしていることはなんですか？  
認知症の方でも楽しく参加できる。分かりやすい。笑顔をお忘れなく、常に曲の構成を変える。演奏だけでなく話術も磨く。音色にまでこだわるといことです。

どんなことをしていますか？ また、どんな効果が得られていますか？

私達は主にアンプに繋がられるピアノを使用し、音を大きくすることにより耳の遠い方にも聞こえやすいよう配慮するほか、利用者様が鳴子、竹太鼓、鈴、ハンドベル等の楽器を使用することもあります。その他、手作り楽器やポディーバーカッションを使います。歌は主に昭和歌謡曲や唱歌を取り入れ、効果としては、回想法などです。戦争を経験された利用者様は「歌しか楽しみがなかった」とよく言われます。「思い出の歌」というのが誰にでもあると思いますが、その歌をうたうことによってその当時の時代背景、楽しかった事、辛かったことなどを思い出すのだと思います。私達は「歌」というものがタイムマシンではないかとよく話し合っています。良くも悪くも、今まで歩んできた人生を振り返ってみるきっかけになってもらえたらと思っています。

音楽療法以外に、普段はどのようなお仕事をされていますか？  
普段は普通の介護職員として機能訓練の指導・入浴介

**常葉大 短大部**

デイサービスセンター  
よつ葉のクローバー大井川 勤務  
短期大学部音楽科

左：2008年度卒  
**伊藤 里紗**さん  
(トランペット専攻・  
中学校教諭2種免許取得)

右：2010年度卒  
**藤田 恵梨奈**さん  
(ピアノ専攻・音楽療法士2種・  
訪問介護員2級取得)



助・排泄介助などを行っています。その他利用者様とお話しすることも介護の一つです。

介護系のお仕事に就くきっかけがありましたら教えてください。

伊藤さん：就職の介護施設実習がたまたま今の勤務先でした。それまでは介護の世界にはあまり興味を持っていませんでしたが、実習でトランペットを吹かせていただいた時、今まで自分の演奏が人の為になったことなんてなかったのに、涙を流して『感動した』と言って下さった利用者様がいたり、実習終了後に会社の方から声を掛けていただいたりしたことがこの仕事に就くきっかけとなりました。

在学中の学生生活や実習などの経験でどんなところが役立っていますか？

藤田さん：授業や実習で在学中に学んだ介護に関する知識、利用者様の移乗などの実技経験は、就職した今でもとても役立っています。音楽療法の実習では利用者様との関わり方、そして『歌』を学んだことは大きかったと思います。まだまだ知らない歌が多く、勉強中ではありますが、昔の昭和歌謡曲が「私の励みだった」という利用者

様は多くいらっしゃいます。誰もが知っている歌を演奏し、皆さんと一緒にうたえるということは一つのコミュニケーションとしてとても役立っています。

最後に、それぞれ今後の抱負を一言ずつお願いします。

伊藤さん：在学中は専攻科に進学しようと考えていましたが、今の会社と出合い音楽を使って仕事をすることができているので後悔はしていません。学生の頃思い描いていた音楽関連の職業とは少し違った形ではありますが、今はこの仕事に誇りを持っています。今後も精進して行きたいと思っています。

藤田さん：小学生の頃から福祉に興味があり、将来の夢であった音楽療法士になることが出来、本当に幸せです。好きなことを仕事にするというのは、嬉しくもあり、好きだからこそこだわりのため大変です。介護に対する世間の目はまだまだ冷たい物です。そんな介護のイメージを変えていきたいという思いと、介護の世界で音楽をどこまで追求できるのか、自分がどこまでやれるのか。今はそれが一番の楽しみです。

お二人の益々のご活躍を楽しみに…ありがとうございました。

常葉大 浜松キャンパス

トライアスロン学生日本代表 石田さん堂々銅メダル!



銅メダルを手に入賞報告

4月20日、ブラジルの首都ブラジリアで「世界大学トライアスロン選手権」が開催され、本学保健医療学部作業療法学科3年、石田帆帆さんが日本代表メンバーとして出場し、見事、団体で銅メダル、個人では14位という結果を残しました。日本チームは、アメリカ、イギリスに次ぐ第3位。大会当日の天候は晴れ、30度を超す暑さのなか、1.5kmのスイム、40kmのバイク、10kmのランを競いました。石田さんの得意な種目はバイク。石田さんは、今大会のために、バイクには力を入れて練習してきました。バイクでは、同じ集団になった他国の選手とお互いのペースが落ちないような駆け引きを繰り返しながら戦ったことが楽しかったと語っていました。また、「初めての海外のレースでしたが、日本ではつかめない様々な体験ができたことはとてもよかったです」と次の6月7月連続に向けての新たな目標ができたようでした。



日本代表3位! 表彰台の石田さん

学生トレーナーサークル(CATS)が、BLS隊デビュー

第30回日本平眩マラソンをサポート

健康プロデュース学部心身マネジメント学科の学生たちが結成したCATSが、県内の大学では初日本平眩マラソンでBLS隊として参加しました。当日は、AEDと救急バックを持ち各ポイントでの待機や自転車での巡回を行い、ランナーをサポート。実習とは違い、現場では自分で動き、判断することが求められるため、貴重な経験になりました。今回は命に危険のある事態も起こりうるため準備に漏れがないよう念を入れ当日を迎えましたが、大きな事故もなく、学生達の処置などの必要もありませんでした。

BS(Basic Life Support) 二次救命処置



ランナーをサポートする学生

常葉大 富士キャンパス

シカ食害対策に貢献

4月19日(土)・20日(日)の2日間、社会環境学部の新人キャンパスが県立富士山麓の村で行われました。1日目は環境に関するスライドを使用したプレゼンテーションなどをを行い、2日目は「環境保全」をテーマに林野庁の方の指導の下、シカの食害対策保全活動に取り組みました。学生たちは施設周辺のヒノキ約200本に麻のテープを巻きつける作業に取り組み、森林の再生とシカの食害対策に貢献しました。食害被害は長年の課題で、ここ10年は深刻化しています。この日の保全活動で約50万円相当の被害を防ぐことができました。参加した学生は、「食害被害が深刻であることを学び驚いた。自然を守る活動に取り組めて良かった」と感想を話してくれました。



作業の説明を聞く学生たち



巻きつけ作業完了

常葉大 短大部

学生生活 スタート!!

フレッシュシユマン・キャンパス

平成26年度のフレッシュシユマン・キャンパスは、本年度から焼津市にあるホテルアンビア松風閣に会場を移し、4月7日(月)～9日(水)の三日間にわたって行われました。このフレッシュシユマン・キャンパスは、教養科目の「ライフデザイン 総合セミナー」の初回にあたる重要な研修として位置づけられ、ここでは二年間の学生生活を含めた自分の進路を見据え、自分に必要なライフデザイン力獲得の手掛かりを見いだすことを目標としています。三日間の研修は晴天にも恵まれ、各自が研修の成果を持ち帰り、常葉大学短期大学の学生としての誇りを持ち、メリハリのある充実した学生生活をスタートさせていくことと思えます。



保育科のガイダンス



朝日を浴びて一日がスタート

橋高

英語部 英語対話弁論大会

ピーチコンテストに4名が参加しました。そのうち21H Rの田中さんは、変わることは難しいが、成長させてくれるという内容のスピーチで高校生の部で1位になりました。英数科3B H Rの山田さんは「フイリピンを襲ったスーパーハイヤーン台風の被害に關しての答弁を行い、国際の部で1位になりました。他にも、英数科3B H Rの石井さんは「ダウン症の赤ちゃんを妊娠した母親に赤ちゃんを産む選択をしてほしい」という内容を、同じく英数科3B H Rの長倉さんは「優先席をお年寄り、障害者、妊婦さんのために空けておく必要性」について日頃の練習の成果を堂々と発表してくれました。



今回大会に出場した4名の生徒

常葉中

中学三年生 北海道修学旅行

5月20～23日、中学3年生が北海道に修学旅行に出かけました。初めて乗る飛行機にドキドキしながら、函館へ。班別研修を終えて函館山から見る夜景に感動しました。2日目は大沼公園でのカヌー体験、寒い中クラスの皆で声を合わせて一生懸命に漕ぎ、向こう岸までレースをしました。次に行った有珠山の火山は霧が深く見えませんが、火山によって陸起した道路を見て、自然の力の大きさを改めて感じました。3日目は小樽の班別研修、両手にお土産を沢山持ち、「時間が足りない!!」という声が多く聞かれました。



カヌー楽しかったよ!

常葉大 静岡キャンパス

「春のおまちクリーンキャンペーン」に参加しました

4月24日、静岡キャンパス学友会の学生が「春のおまちクリーンキャンペーン」に参加しました。一般企業や市役所などから多くの方が参加し、静岡市街地の清掃活動を実施する中、学友会の学生は駿府公園を中心に7時45分から約30分間清掃活動に励みました。一見綺麗に見える公園内にも、目を凝らして歩くところ々に空き缶や吸い殻が落ちており、イベントなどで活用される機会が多い駿府公園を少しでも綺麗にしようと真剣に取り組んでいました。早朝の清掃活動はとても清々しく、参加学生は「今後もこのような活動に積極的に参加することで地域に貢献していきたいです。」と語っていました。



「春のおまちクリーンキャンペーン」に向かう学友会のメンバー

シャトレゼのホテルではパティシエ体験でガトーショコラ作りをし、夕食のバイキングの種類の多さについて食べ過ぎてしまいました。最終日はアイヌ民族について施設見学をし、FDAにて静岡空港へ無事に帰省。あっという間の4日間、とても楽しい思い出が沢山です。今後はたくさん撮った写真を各自でアルバムにまとめ、常葉祭で展示する予定です。

常葉大	▶ オープンキャンパス(静岡)	7/26・27 10:00~15:00	常葉大学 静岡キャンパス・瀬名校舎・水落校舎	各種説明会・相談会、キャンパスツアー、体験授業、ランチ体験 等	
	▶ オープンキャンパス(浜松)	7/26・27、8/23・24、9/28 10:00~15:00	常葉大学 浜松キャンパス		
	▶ オープンキャンパス(富士)	7/26・27、8/23・24、9/28 10:00~15:00	常葉大学 富士キャンパス		
	▶ AO入試Ⅰ期	出願 8/25~9/3 試験 9/13	常葉大学 静岡・浜松・富士キャンパス		外国語学部、造形学部、健康プロデュース学部、経営学部、社会環境学部、保育学部
	▶ AO入試Ⅱ期	出願 9/29~10/8 試験 10/18	常葉大学 浜松・富士キャンパス		健康プロデュース学部、経営学部、社会環境学部
	▶ こどもむら(浜松C)	7/26 10:00~12:00	浜松キャンパス		自然の中で水あそび!
	▶ キッズオープンキャンパス(浜松C)	7/19 10:00~13:00	浜松キャンパス		夏休みの研究にも役立つおもしろ講座開講
短大部	▶ オープンキャンパス	7/26、8/23 13:00~17:00	常葉大学短期大学部	模擬授業、卒業生・在校生トークショー	
	▶ 日本語日本文学科&英語英文科授業体験説明会	9/6 13:00~16:00	常葉大学短期大学部	コラボレーション科目紹介、実践キャリア実務士について	
	▶ 音楽科夏期受験講習会	講習会7/30・31、8/2 ※申込期間7/1~7/19	常葉大学短期大学部	受験対策授業・レッスン	
	▶ 実技体験レッスン	7/26、8/23、9/6 ※申込締切は、各レッスン日2週間前まで	常葉大学短期大学部	短大のレッスンってどんな感じ? レッソンの雰囲気を実感してみませんか?	
	▶ ピアノクリニック	10/4、11/29 ※申込締切は、各レッスン日1週間前まで	常葉大学短期大学部	課題曲や練習方法や受験曲の選び方とコースの選び方について	
	▶ 橋中学校説明会	7/19 14:00~	橋中学校	学校紹介、施設見学、個別相談	
	▶ オープンスクールⅡ	7/26(土) 10:00~12:00	常葉大学教育学部附属橋小学校(要事前申し込み)	本校教員とレクリエーションで楽しみます。	
橋小	▶ 入試個別相談会	6/30(月)~7/4(金)	常葉大学教育学部附属橋小学校(要事前申し込み)		
	▶ 第2回学校説明会	7/5(土) 10:00~11:40	常葉大学教育学部附属橋小学校	保護者対象説明とお子様向けお楽しみ体験教室。	
	▶ 第3回学校説明会	9/20(土) 10:00~11:40	常葉大学教育学部附属橋小学校	入試直前の年長のお子様と保護者対象説明。年中・年少のお子様も一緒に。	



これ なんだろう?

「アハ!へいくの?」「なににするの?」と不思議そうでした。「みんな、みてごらん!」と言う先生の声にうれしそうに集まった子ども達。大きなプランターと苗を見て「なんだらう?」と興味津々!お話を聞いた後、なす、ピーマン、とまとの苗を1人1人ひとり両手でしっかりと持って植えました。「はやくおおきくなあれ!」と言いはり土をかけた後、水をあげました。毎日野菜中心の手作り給食を楽しんでいるので、成長が楽しみです。収穫した野菜は、おしゃべりな子ども達に食べさせてあげたいと思います。

**保育センター**  
「野菜だ!いすき!はやくおおきくなあれ!」



入所式にて 日本平動物園にて

4月下旬、常葉中学1年生は2泊3日の「研修センター合宿」に出かけました。初めは不安な気持ちでしたが1年生も、和尙さんのお話や食事を学ぶことができて嬉しかったようです。坐禅堂に響いた警策の音や「日本平動物園」での弾いた警察の音や「研修センター」で学んだことは、これからの学校生活にきっと活かされることでしょう。

**常葉中 中学 研修センター**



5月に東京で空手道ジュニア日本代表選考会が行われ、高校空手道部2年横井仁勇君が推薦を受けて参加しました。強豪ひしめく中で、各階級24名の選抜と、厳しい代表選考でした。今年行われるアジア大会出場候補選手となり、日本代表選考を経て選考されることになり、横井君の活躍に期待が下されています。

**横井くん、日本代表に**



全国大会に挑んだ3人 成岡さん(右)は組手で3位入賞

私達は、3月27~31日、北海道の北広島市で行われたはまなす杯第8回全国中学生空手道選抜大会に出場しました。大会当日の朝は、練習する時間が少なく場所もなかったため、体が温まらないうちに試合に挑みました。でも、本番では一人ひとりが練習してきた成果を十分に発揮しました。また、静岡県の人たちが私達を一生懸命応援してくださったので、期待にこたえられてうれしかったです。3人しか経験できなかったものもたくさんあったので、それらをこれからの生活に活かして頑張ります。(大房賢太・成岡優那・宮田京奈)

**菊川中・高 空手道部中学生3名 全国大会へ**

**春探しに出掛けましたよ!!**  
お天気に恵まれた春の日、一面にれんげが咲いている田んぼへお散歩に行きました。たんぼばや菜の花、四葉のクローバーなどを発見しながら、新しいクラスのお友達と手をつないで歩きました。着いてみると、目の前がピンクのじゅうたんのように大興奮の子ども達!!手に届くれんげを摘んだり、花の蜜に集まって来たチョウチョやミツバチを見つけて春を全身で感じました。



みてみて! みつばちがいるよ!

れんげがいっぱい!

とこは 幼

たのしい ようちえん

たちばな 幼

とこは幼稚園に遊びに行きましたよ!

5月2日、とこは幼稚園に、年長児が遊びに行きました。みんなで一緒に体操をしたり、鬼ごっこやリレーをして、沢山身体を動かして楽しめました。新しい友達もすぐにできて、仲良くおしゃべりをしながらお弁当を食べました。また次回、とこは幼稚園のお友達と会えるのが、とても楽しみです。

**初めての避難訓練**  
こうやって身を守るんだよ~



防災頭巾を被ってみただけど...



日本平動物園に行ってきたよ!!



親子遠足



●平成26年度学生・生徒・児童・園児・教職員数 平成26年6月1日現在

学校	内訳	学生・生徒・児童・園児					教職員					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	教職員	事務職員	非常勤職員	合計
常葉学園本部												
大学院	国際言語文化研究科	2	2					4				
	国際言語文化研究科	13	11					24	8			8
	健康科学研究科	12	11					23		3		3
	環境防災研究科	2	0					2				
教育学部	初等教育課程	127	205	139	125			596				
	生涯学習学科	90	117	98	64			369	57	28	59	155
	心理教育学科	61	85	86	67			299				
外国語学部	英米語学科	110	99	97	116			422	23	11	44	1
	グローバル・C学科	78	55	55	66			254				
造形学部	造形学科	109	90	77	91			367	11	6	30	4
法学部	法律学科	171	203					374	16	6	7	5
健康学部	看護学科	88	74					162	40	5	24	69
	静岡理学院法学科	78	69					147				
経営学部	経営学科(浜松)	136	138					274	15	4	14	3
	経営学科(富士)	137	102					239	15	6	10	3
	小計	274	240					514	30	10	24	6
健康プロフェッショナル学部	健康栄養学科	82	102					184				
	こども健康学科	55	52					107				
	心身マネジメント学科	116	112					228	51	11	34	6
	健康鍼灸学科	20	22					42				
	健康看護学専攻	30	30					60				
保健医療学部	理学療法学科	50	38					88	13	4	13	1
	作業療法学科	37	41					78				
社会環境学部	社会環境学科	115	78					193	15	5	13	4
保育学部	保育学科	82	101					183	7	3	18	2
留学生別科		9						9				
合計		1810	1837	552	529			4728	271	89	269	40
大学院	経営学研究科	1	5					6			1	1
	健康科学研究科	1	7					8				
ビジネス科	経営情報学科			54	98			152	11	3	8	2
	サービスと経営学科			74	90			164				
	健康栄養学科			68	64			132				
健康プロフェッショナル学部	こども健康学科			50	49			99				
	心身マネジメント学科			76	90			166	26	8	23	4
	健康鍼灸学科			21	31			52				
	健康看護学専攻			28	35			63				
保健医療学部	理学療法学科			43	49			92	7	2	3	1
	作業療法学科			33	33			66				
合計		1	12	447	513			978	44	13	35	7
富士常葉大学	大学院	環境防災研究科										
	総合経営学部	総合経営学科		107	137			244	7	4	19	2
	社会環境学部	社会環境学科		70	69			139	6	3	7	5
	保育学部	保育学科		87	81			168	5	3	8	2
合計				264	287			551	18	10	34	9
常葉大学短期大学部	本学	日本語日本文学科	55	53				108	7	1	20	2
	英語英文科	32	44					76	7	2	12	2
	保育科	209	215					424	20	9	55	2
	音楽科	31	39					70	8	1	64	2
	小計	327	351					678	42	13	151	8
	国際国文専攻	5	15					20				
	保育専攻	16	13					29				
	音楽専攻	18	16					34				
	小計	39	44					83				
合計		366	395					761	42	13	151	8
常葉静岡/八專	理学療法学科			89	47			116	6	2	13	1
高等学校	普通科	234	165	226				625	35	4	28	2
中学校		40	52	44				136	10	1	13	1
合計		274	217	270				761	45	5	41	3
高等学校	英数科	49	41	52				142				
	普通科	359	331	236				926	58	4	46	5
小計		408	372	288				1068	58	4	46	5
中学校		64	71	52				187	14	1	6	5
合計		472	443	340				1255	72	5	52	10
高等学校	普通科	299	231	282				812	50	5	40	3
	美・学科	40	43	43				126				
小計		339	274	325				938	50	5	40	3
中学校		60	65	56				182	13	1	8	2
合計		399	340	381				1120	63	6	48	3
小学校	こども幼稚園	49	54	46	47	49	35	280	26	1	18	1
	たね幼稚園	2	82	72	79			235	11	1	5	17
	たちばな幼稚園	7	78	74	76			235	13	1	5	19
常葉リハビリテーション病院									115			30
合計		3380	3458	2515	1583	49	35	11020	611	302	671	144

●平成25年度決算について●

学校法人常葉学園の平成25年度決算は、去る5月25日開催の理事会及び評議員会において承認されました。

資金収支計算書 ■平成25年4月1日から平成26年3月31日まで (単位:千円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	8,427,067	人件費支出	7,780,565
手数料収入	256,068	教育研究経費支出	1,832,177
寄付金収入	128,996	管理経費支出	1,064,646
補助金収入	2,009,638	借入金等利息支出	12,133
資産運用収入	194,501	借入金等返済支出	73,320
資産売却収入	199,389	施設関係支出	3,161,101
事業収入	1,238,425	設備関係支出	610,978
雑収入	405,872	資産運用支出	4,103,028
前受金収入	1,813,857	その他の支出	2,087,733
その他の収入	4,892,616		
資金収入調整勘定	△ 2,482,330	資金支出調整勘定	△ 443,167
前年度繰越支払資金	8,361,219	次年度繰越支払資金	5,162,804
収入の部合計	25,445,318	支出の部合計	25,445,318

消費収支計算書 ■平成25年4月1日から平成26年3月31日まで (単位:千円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金	8,427,067	人件費	7,780,565
手数料	256,068	教育研究経費	3,051,231
寄付金	155,878	管理経費	1,176,961
補助金	2,009,638	借入金等利息	12,133
資産運用収入	194,501	資産処分差額	102,661
資産売却差額	45,100	徴収不能引当金繰入額	0
事業収入	1,238,425	徴収不能額	57
雑収入	417,054		
帰属収入合計	12,743,731	消費支出の部合計	12,123,608
		当年度消費支出超過額	3,398,967
		前年度繰越消費支出超過額	1,471,073
基本金組入額合計	△ 4,019,090	基本金取崩額	10,411
消費収入の部合計	8,724,641	翌年度繰越消費支出超過額	4,859,629

貸借対照表 ■平成26年3月31日 (単位:千円)

資産の部		負債・基本金・消費収支差額の部	
科目	金額	科目	金額
(固定資産)	(51,389,400)	(固定負債)	(3,885,813)
土地	14,951,274	長期借入金	2,405,210
建物・構築物	19,657,304	退職給付引当金	1,411,676
機器備品	2,005,372	その他の固定負債	68,927
図書	2,935,982	(流動負債)	(2,623,929)
その他の固定資産	11,839,468	短期借入金	73,320
(流動資産)	(8,105,071)	前受金	1,827,287
現金預金	5,162,804	その他の流動負債	723,322
その他の流動資産	2,942,267	(基本金の部合計)	(57,844,358)
		(消費収支差額の部合計)	(△ 4,859,629)
合計	59,494,471	合計	59,494,471